

小金井市市民参加推進会議（第51回）次第

日時 平成30年3月29日（木）午後7時から

場所 前原暫定集会施設 B会議室

1 開 会

2 市民参加条例運用状況等について

(1) 第7期市民参加推進会議の議題について

(2) 次回推進会議の日程について

3 その他

4 閉 会

■配布資料

資料1 公募委員の対象者について【事前配付】

資料2 第7期推進会議行程表作成シート【事前配付】

資料3 意見・提案シート（2通）【事前配付】

公募委員の対象者について

会議名	市民参加推進会議	附属機関等
要件	市内に住所を有する者	原則として応募時に18歳以上の 市内在住、在勤又は在学のもの
根拠法令	小金井市市民参加条例第28条	小金井市市民参加条例施行規則第9条

第7期推進会議行程表作成シート

	(参考) 第6期推進会議行程表		第7期推進会議行程表
1回目(第42回) 平成27年12月22日	委嘱状の交付、正副委員長の互選について、市民参加条例の概要について、推進会議の運営等について、市民参加条例運用状況等について、次回推進会議の開催日について	1回目(第50回) 平成30年1月30日	委嘱状の交付、正副委員長の互選について、市民参加条例の概要について、推進会議の運営等について、市民参加条例運用状況等について、次回推進会議の開催日について
2回目(第43回) 平成28年2月19日	第6期市民参加推進会議の議題について、その他	2回目(第51回) 平成30年3月29日	
3回目(第44回) 平成28年5月27日	市民参加条例運用状況等について、各附属機関等団体代表登録状況について、市ワークショップ内容と今後のスケジュール案について、次回推進会議の開催日について、その他	3回目(第52回) 平成30年5月	
4回目(第45回) 平成28年7月29日	附属機関等委員の市職員等の人数について、市ワークショップに関する意見・提案について、次回推進会議の開催日について	4回目(第53回) 平成30年7月	
5回目(第46回) 平成28年11月25日	今後のスケジュールについて、提言の具体的内容の検討について、次回推進会議の開催日について	5回目(第54回) 平成30年11月	
6回目(第47回) 平成29年3月23日	第7期推進会議の委員の募集について、附属機関等の委員募集・選任結果及びパブリックコメントの意見募集・検討結果の市報フォーマットの変更について、提言案の検討について、次回推進会議の開催日について	6回目(第55回) 平成31年3月	
7回目(第48回) 平成29年5月25日	市民参加条例運用状況等について、今後の市民参加推進会議の予定について、提言(案)の検討について、次回推進会議の開催日について	7回目(第56回) 平成31年5月	
8回目(第49回) 平成29年8月4日	提言の受け渡しについて、提言に対する市長意見について、第6期市民参加推進会議のまとめ	8回目(第57回) 平成31年7月	

小金井市市民参加推進会議

意見・提案シート

◆推進会議の検討内容（今回・次回以降）についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、企画政策課にご提出ください。次回開催の1週間前までに届いたものは、推進会議で資料として配付します。

市民参加の土台としてのシステムズシフト教育について

本会議でも検討されてはいかがでしょうか。

18歳投票権と相まって、投票へ行こうということからコース
アッパアホアホか。本来は「自分たちのくらして、子どもに
意見をもつ。発信ある。取り入れられる（あるいは取り入れられない
理由がわかる）」ということも身に付けてのからシステムズ
シフト教育のあるべき姿と思います。

選挙管理委員会や学校にお任せにありたいことに

ととまらな。市民同工（子どもは有権者にはまらなはな
いひくも市民でる）が学ぶ機会とせひ検討して
ください。

提出日 2018 年 1 月 30 日

氏名 林 倫子

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。無記名の場合は参考資料として委員に配付し、インターネット等での公開は行いません。

(送付先)

小金井市企画財政部企画政策課 担当：齋藤 古賀

〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先：042-387-9800

FAX：042-387-1224 E-mail：s010199@koganei-shi.jp

意見・提案シート

◆推進会議の検討内容（今回・次回以降）についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、企画政策課にご提出ください。次回開催の10日前に届いたものは、推進会議で資料として配付します。

■審議会応募の倍率の低下・ネット、SNSの活用について

もともと興味のない市民の方へはどうアプローチするのか、また若者の市政への参加をどうするのか、という委員の方の質問にも繋がる事ですが、審議会の募集に限らず、もっとSNS、ネットを活用した発信を検討すべきだと思います。若者だけでなく、40～50代もかなり活用されている方は多いと思います。

現状ではTwitterでいくつかの発信はされているようですが、市報に掲載されている情報はすべて発信できるしくみづくりが必要ではないでしょうか。ホームページの新着情報を自動的に拾いすべてツイートすることは、人手もいらず、技術的には難しい事ではありません。

Twitterの発信も最近始まったところですので、一步一步ですが進めていってほしいと思います。

また、Twitterでは140文字の短文しか発信出来ないで、市のFaceBookページをつくる事もこちらの委員会で検討してみたいかがでしょうか。多くの市民団体はそうにして発信を行っていると思いますので、連携もはかれます。

■ワークショップの取り組みについて

ワークショップを市民の意見収集に活用するのはとても良いと思います。

実際公共施設管理計画や庁舎建設予定地活用のワークショップに参加しましたが、とても楽しく、今後の市政では統廃合が必要であるという事や、実際の敷地条件ではある一定の建て方が妥当であるという事もよく理解できました。

市民参加推進会議でも、委員会の中でワークショップを行って委員の皆様に体感していただくのはいかがでしょうか。もちろん毎回というわけではなく、委員会の中で必要なところとする、というイメージです。

また、ワークショップをイベント的な一時的なものではなく、他の各審議会の中でもワークショップを行う取り組みを取り入れる事も提言されたら良いと思います。ワークショップにも色々な方法があり、研究が必要だと思います。講師を呼んで色々な手法を研究しながら実践してみるというのも良いかもしれません。

次ページへつづく

提出日 2018 年 1 月 31 日

氏 名 諏訪間 千晃

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。無記名の場合は参考資料として委員に配付し、インターネット等での公開は行いません。

(送付先)

小金井市企画財政部企画政策課 担当：工藤 津田

〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先：042-387-9800

FAX：042-387-1224 E-mail：s010199@koganei-shi.jp

■大学への審議会募集告知について

委員の方から大学への審議会募集はかけているのかという質問がありましたが、学生が必ずしも市内在住かどうか分からないため募集出来ないといったようなご回答だったかと思います。すべての学生に条件が当てはまる必要はなく、条件的なものは書いておけば問題ないはずで、募集告知チラシなどを学内や学内のネット告知等に掲載していただくのはまったく問題ないと思いますがいかがでしょうか。大学側の意向であるという事なら仕方ないのですが、地域との連携という意味では、大学側にもぜひご協力いただきたい内容です。

■資料のデータ配付の取り組みについて

委員の方から意見のあった、データ配布で資料を配付するという方法は今後検討する価値があると思います。委員会によっては時間の都合で直前までデータが用意出来ないというような場合や、メールやパソコンを使用していない委員の方がいる場合など、状況によるかもしれませんが、委員の当日資料はデータ配布という方式も、可能性はあると思います。

そのようにした場合、委員へのデータ送付と同じタイミングで、傍聴者や傍聴していない方向けにも、当日3日前くらいまでに市ホームページに資料が掲載されている、という状況が望ましいと思います。

■資料のホームページ掲載について

上記のように委員会当日前に資料がホームページに掲載されることが望ましいと思いますが、現状では難しいという場合もあるかとは思いますが、その場合でも

あまり遅くならないように、少なくとも1週間以内には当日資料の掲載が出来るような体制を提言していただければと思います。また会議録についてはさらに遅くなっているケースも見受けられますので、掲載のタイミングについて一定の期限を設ける事も必要かと思えます。

審議会だけでなく、市議会の資料についても同じ事が言えます。

現状では議会で配布されている各委員会の議員請求の資料は掲載されていません。

こちらを早急に改善していただきたいと思えます。